

令和4年度事業報告

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月 31日

概要

公益社団法人岐阜南法人会は、定款の目的に則り、税知識の普及、納税意識の高揚並びに適正・公正な申告納税制度の維持発展と税務行政の円滑な執行に寄与する事業を推進してきた。

併せて、地域企業と地域社会の健全な発展のため、社会貢献事業を積極的に展開するとともに、会員企業の発展に資する事業を推進してきた。

1 組織の現状

令和5年3月31日現在、会員数 3,346社(前年同期比 69社増加)、加入率38.61%(同0.13%増加)と前年度に比較し会員数が増加に転じており、わずかであるが加入率も増加している。本年度、特に会員増強活動に力を入れた成果が、顕著な数値となって現れている。

2 事業の実施状況

当法人会は、公益社団法人として「税の啓蒙・啓発」「地域企業の発展」「地域社会への貢献」に係る事業遂行の努力をコロナ禍の中においても行ってきた。

税の啓蒙と税知識の普及を目的とした研修会は、管内税務署の署長、副署長を講師に招き講演会を開催するとともに、税制改正に関する研修会や管内企業から受講者を募集した簿記研修会では多くの参加者を得て実施した。

税制委員会では、税制に関する要望を取りまとめ「令和5年度税制改正に関する提言書」を地元選出の国会議員2名、各務原市・羽島市の各市長並びに市議会議長に対し、提言活動を行った。

1月には大規模な公開講演会を実施したところ、一般参加者から大きな反響を得て、岐阜南法人会知名度の向上と社会貢献事業活動の成果を実感した。

県下法人会運営研究会の研究発表2年目に当たり、会員増強活動をテーマに全会で取り組んできた結果は、新規加入件数123件の大幅増加となって実を結んだ。

租税教室は、青年部会3校、女性部会2校の小学校で実施した。租税教室の際に募集した「税に関する絵はがき」は、間税会協力3校を合わせ、合計8校から334通の応募を受けた。各学校の優秀作品表彰にあたっては、バナナの樹皮を利用した再生紙で表彰状を作成し、受賞した児童をはじめ学校関係者に対して資源の有効活用などの説明を行い、SDGsにも配慮した活動を行った。

青年部会は、10月県下法人会青年部会連絡協議会の主管し「人も企業も長生きの秘訣は『健康』」をテーマとして、健康経営を中心とした青年部会の取り組みをリードし、会議を成功裡に導いた。

以上の事業活動の様子は、会報誌の「Avantiみなみ」(年3回発行)に掲載し会員に周知した。